

利用成果報告書

- 1 課題番号 R3-014
- 2 報告者 渡辺すみ子 東京大学医学部附属病院網膜発生疾患病態学
- 3 利用区分 成果公開有償利用
- 4 利用課題名 網膜変性疾患モデルの樹立、変性機構の解明、新規治療法確立に向けた基盤研究
- 5 使用装置名 FACS Aria IIIu
- 6 利用期間 令和 3年 9月 1日 ~ 令和 4年 3月 31日
- 7 利用成果・実績の概要 薬剤誘発型網膜変性マウスモデルと遺伝性網膜変性マウスモデルを用い、FACSによる網膜・網膜色素上皮・脈絡膜血管系を含む病変部位の細胞分取を行なった。さらに同サンプルを用い、シングルセルRNA-seqにより遺伝子プロファイルの同定を行なった。今後は、正常組織、変性組織における遺伝子プロファイルの変化を明らかにしていく予定である。
- 8 社会・経済への波及効果 網膜変性時において、網膜および隣接組織を含む病変部位全体における遺伝子プロファイルの理解は不十分である。本研究を通して、網膜変性疾患を組織横断的に捉え、疾患理解や新規創薬ターゲット探索につなげたい。
- 9 学会等における口頭・ポスター発表 該当無し
- 10 学会誌・雑誌等における論文掲載 該当無し